



# 【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

## < 2学期が始まりました > ～何事にも本気で取り組み、大きく成長してください～

31日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。登校してくる生徒の軽やかな足取りや表情、始業式で話を聞く生徒の姿勢から、充実した夏休みを過ごすことができたことを感じ、とても安心しました。全校生徒の明るく元気な言動で、2学期も学校の活気を高めていってほしいと思います。

さて、始業式の校長講話では、私はスライドを使いながら、2学期の生活について、下記の内容を生徒に伝えました。いつもより少し時間が長くなってしまいましたが、真剣な眼差しで話を聞いてくれて、嬉しかったです。(※次回の校長講話はなるべく短くなるように努力します)

○2学期は登校日数が多く、学習する時間がたくさんある学期であり、全員が大きく成長できる学期である。

○1学期間の生活の様子から、一人一人が着実に成長してきていることを感じ、これからさらに成長していく可能性も十分に感じている。

○学校で学ぶことや身につけることは、将来に生活に必ず役立つことであり、持っている夢を実現するために、また、幸せに生きていくためにも必要なことである。だから、この2学期は、何事にも本気になって取り組み、たくさんのことを学んで、吸収し、自分をもっと大きくしていってほしいと願っている。

○私は「本気」という言葉が好きである。この言葉をおまじないのように心の中で唱えると、やる気が沸いてくるような気がするからである。

(※詩人であり書家でもある「相田みつを」さんの「本気」という詩とそれがプリントされているハンカチを紹介する)

○本気になれば、何でもできてしまう北中生だと、私は思っている。この2学期は、何事にも本気で取り組む姿をたくさん見せてほしい。

※校長講話の前半は、パリオリンピックの話題で、印象に残った競技と選手を紹介しました。また、7月3日は新札が発行されたことから、それぞれのお札に描かれている人物や建物、花、絵画2学期の生活についても紹介しました。特に、1万円札の肖像になっている「渋沢栄一」さんについては、彼の偉業と彼の残した有名な言葉「夢七訓」を読み上げて紹介しました。

※テレビでも放映されていましたが、お札

に描かれている人や物には、その理由が存在します。旧札に描かれている人や物と見比べながら考えてみると、分かってくるかもしれません。ご家庭でも話題にしていただけると、会話が弾むと思います。

保護者の皆様には、2学期の教育活動にも引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



**2学期は、誰もが大きく成長できる学期です**

学校で学ぶことや身につけることは、将来に必ず役立つこと

夢を実現するために必要で、幸せに生きるために必要なこと

何事にも手抜きをせずに、本気になって取り組む

**本気になれば、何でもできてしまうみなさんです**

**本気**

【夢七訓】  
夢なき者は理想なし  
理想なき者は信念なし  
信念なき者は計画なし  
計画なき者は実行なし  
実行なき者は成果なし  
成果なき者は幸福なし  
故に幸福を求むる者は夢なかるべからず

**渋沢栄一さんの「夢七訓」**